

〔廃棄〕

- ・内容物／容器を都道府県／市町村の規則に従って適正に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

| | | |
|---------------|---|-----------------|
| 単一化学物質・混合物の区別 | ・混合物 | |
| 化学名又は一般名 | ・アスファルト系防草材 | |
| 化学式 | ・特定できない | |
| 成分及び含有量 | ・① 未加硫ブチルゴム等 | 97 ~ 98 % |
| | ・② 防根剤 | 1 ~ 2 % |
| | ・③ PET フィルム | 0.8 ~ 1 % |
| CAS 番号 | ・① 9010 - 85 - 9 ② 非公開 ③ 25038 - 59 - 9 ④ 非公開 | |
| 官報公示整理番号（化審法） | ・① 6 - 764 ② 非公開 ③ 7 - 1022 ④ 非公開 | |
| | （安衛法） | ・①、②、③、④ 化審法を準用 |

4. 応急措置

吸入した場合

- ・新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

- ・付着した身体部位を水で洗浄する。また、汚染された衣類を直ちに脱ぎ、皮膚を多量の水と石鹼水で洗う。必要に応じて、医師の診断／手当てを受ける。

眼に入った場合

- ・水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断／手当てを受ける。

飲み込んだ場合

- ・無理に吐かせないで、速やかに医師の診断／手当てを受ける。口の中が汚染されている場合は、水で十分に洗うこと。気道に入ったと思われるときは、直ちに医師の診断／手当てを受ける。

最も重要な徴候及び症状

- ・現在のところ有用な情報なし。

応急措置をする者の保護

- ・現在のところ有用な情報なし。

医師に対する特別な注意事項

- ・現在のところ有用な情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤

- ・粉末、泡、乾燥砂等の消火剤が有効である。

使ってはならない消火剤

- ・棒状水の使用は火災を拡大し、危険な場合がある。

特有の危険有害性

- ・燃焼の際は、一酸化炭素等の有毒ガスが生成されるおそれがある。

特有の消火方法

- ・火元の燃焼源を断ち、適切な消化剤を使用して消火する。
- ・周囲の設備等に散水し、冷却する。

消火を行う者の保護

- ・消火作業の際は、風上から行き必ず保護具を着用する。
- ・消火作業を行う者は、空気呼吸器等の保護具を着用し、酸素欠乏及び有害ガスから身を守ること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・作業の際には、保護具を着用する。

環境に対する注意事項

- ・河川、下水道等に流出し、二次災害・環境汚染を起こさないように注意する。万一、公共水域へ流出した場合は、必要に応じて所轄の消防署、警察署等の監督官庁へ届け出ること。

回収、中和

- ・適当な容器及び包装等で回収する。

二次災害の防止策

- ・漏洩時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。
- ・周囲の着火源を取り除き、消火用器材を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- ・作業の際には保護具を着用する。

局所排気・全体換気

- ・「8. 暴露防止及び保護措置」を参照。

注意事項

- ・当社製品であるボーソーボンドまたはプライマーCを使用する際は、熱、火花、炎、高温体等との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を発散させないこと。

接触回避

- ・「10. 安定性及び反応性」を参照。

安全取扱い注意事項

- ・当社製品であるボーソーボンド及びプライマーCを使用し、施工すること。

保管

技術的対策

- ・炎及び高温のものから遠ざけること。

混触禁止物質

- ・「7. 取扱い及び保管上の注意」及び「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管条件

- ・直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。
- ・水回りや湿度の高いところに置くなどによる水濡れによって、段ボール箱の破れや荷くずれ等に注意すること。

容器包装材料

- ・製品使用容器に準ずる。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

- ・発生源の密閉、または排気装置を設ける。
- ・取扱場所の近辺に、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

管理濃度

- ・製品に対する有用な情報なし。

許容濃度

- ・製品に対する有用な情報なし。

保護具

呼吸器の保護具

- ・状況に応じて、防毒マスク（有機ガス用）等を着用する。

手の保護具

- ・状況に応じて、耐油性型の保護手袋等を着用する。

眼の保護具

- ・状況に応じて、保護眼鏡等を着用する。

皮膚及び身体の保護具

- ・状況に応じて、耐油性型の長袖作業着等を着用する。

衛生対策

- ・取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|----------------|------------|
| 物理的状態、形状、色など | 黒色粘着テープ |
| 臭い | 僅かな臭気 |
| pH | データなし |
| 融点・凝固点 | データなし |
| 沸点、初留点及び沸騰範囲 | データなし |
| 引火点 | データなし |
| 燃焼又は爆発範囲の上限・下限 | データなし |
| 蒸気圧 | データなし |
| 蒸気密度 | データなし |
| 比重（相対密度） | 1.50 ± 0.2 |
| 溶解度 | 水に不溶 |
| n-オクタノール／水分配係数 | データなし |
| 自然発火温度 | データなし |
| 分解温度 | 220 °C以上 |

10. 安定性及び反応性

安定性

- ・常温で暗所に貯蔵、保管された場合は、安定である。

危険有害反応可能性

- ・製品に対する有用な情報なし。

避けるべき条件

- ・有機溶剤と接触しないこと。

混触危険物質

- ・製品に対する有用な情報なし。

危険有害な分解生成物

- ・燃焼した際は、亜硫酸ガス等の有毒ガスが生成される。

1 1. 有害性情報

急性毒性

- ・製品に対する有用な情報なし。
- ・経口 ラット LD₅₀ 2,000 mg/kg 以上 (防根剤の成分情報)^{a)}

皮膚腐食性・刺激性

- ・製品に対する有用な情報なし。
- ・皮膚刺激性はウサギ4時間暴露で刺激性なし。(防根剤の成分情報)^{a)}

眼に対する重篤な損傷・刺激性

- ・製品に対する有用な情報なし。
- ・眼刺激性はウサギで刺激性なし。(防根剤の成分情報)^{a)}

呼吸器感作性又は皮膚感作性

- ・製品に対する有用な情報なし。
- ・皮膚感作性はテンジクウサギで感作性なし。(防根剤の成分情報)^{a)}

生殖細胞変異原性

- ・製品に対する有用な情報なし。

発がん性

- ・製品に対する有用な情報なし。

生殖毒性

- ・製品に対する有用な情報なし。

特定標的臓器・全身毒性－単回暴露

- ・製品に対する有用な情報なし。

特定標的臓器・全身毒性－反復暴露

- ・製品に対する有用な情報なし。

吸引性呼吸器有害性

- ・製品に対する有用な情報なし。

1 2. 環境影響情報

生態毒性

- ・製品に対する有用な情報なし。
- ・微生物毒性 EC₅₀ 1,000 mg/L 以上 (OECD209 = ISO DP8192 活性汚泥による呼吸障害試験)
- ・藻類に対する毒性 EC₀ 100 mg/L 以上 *Scenedesmus subspicatus*
- ・ミジンコ毒性 EC₀ 100 mg/L 以上 *Daphnia magna*

- ・魚毒性 LC0 約 25 mg/L/ 48 H Leuciscus idus
- ・防根剤 1 %を含有するピチューメン 400 g を 1 リットルの水中に入れて 7 日間テストした結果、有害性は認められなかった。(防根剤の成分情報)^{a)}

残留性・分解性

- ・製品に対する有用な情報なし。

生体蓄積性

- ・製品に対する有用な情報なし。

土壌中の移動性

- ・製品に対する有用な情報なし。

1 3. 廃棄上の注意

- ・事業者は産業廃棄物（残余廃棄物、汚染容器及び包装）を自ら処理するか、又は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。
- ・投棄禁止。
- ・焼却する場合は、安全な場所で、かつ、燃焼または爆発によって他に危害または損害を及ぼすおそれのない方法で行うと共に、見張り役をつけること。
- ・その他、関係法令の定めるところに従う。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

- | | |
|--------|------------|
| 国連番号 | ・非該当 |
| 品名 | ・非該当 |
| 国連分類 | ・国連分類に該当せず |
| 容器等級 | ・非該当 |
| 海洋汚染物質 | ・非該当 |

表の幅
左:58.0 mm 右:109 mm
表の高さ
フォント 10 pt に合わせて自動

国内規制

- ・下記、輸送に関する国内法規制に該当するので、各法の規制に従った容器、積載方法により輸送する。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 陸上 消防法 | ・指定可燃物 合成樹脂（その他のもの） |
| 海上 船舶安全法 | ・非危険物 |
| 航空 航空法 | ・非危険物 |

安全対策

- ・該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。
- ・容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転落、落下、容器破損のないよう積み込み、荷崩れ防止を確実にこなう。

1 5. 適用法令

消防法 指定可燃物 合成樹脂類 その他のもの (3,000 kg 以上の場合)

1 6. その他の情報

参考資料

GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示および安全データシート

(SDS) JIS Z 7253 : 2012

化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS 提供制度 (平成 24 年 10 月)

製品評価技術基盤機構 (NITE)

a) 安全データシート (原料メーカー)

記載内容の取扱い

- ・安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者提供されるものです。取扱う業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。
- ・すべての資料や文献を調査したわけではないため、情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをおすすめします。なお、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は通常的な取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、この点にご配慮をお願いします。

記載内容の問い合わせ先

- | | |
|----------|------------------------------------|
| ・担当部門 | シンレキ工業株式会社 中央研究所 |
| ・住所 | 〒 210 - 0867 神奈川県川崎市川崎区扇町 6 番 2 号 |
| ・電話番号 | 044 - 366 - 1617 |
| ・FAX 番号 | 044 - 366 - 1618 |
| ・メールアドレス | kenkyu@shinreki.co.jp |
| ・受付日時 | 月曜日 ~ 金曜日 (祝日は休業) 8 : 30 ~ 17 : 30 |
-